

# '14.3

毎月1回20日発行 定価 1部60円  
発行人 兵庫県商工会連合会  
代表者 木南 岩男  
発行住所 神戸市中央区花隈町6番19号  
電話 078(371)1261(代)650-0013  
http://www.shokoren.or.jp/  
編集人 安 平一  
印刷所 有限公司 浜田デザイン写植  
会員の購読料は会費に含んでおります

第679号

# 兵庫県 商工連会報

(題字は井戸知事)

Hyogo Prefectural Federation of Societies of Commerce and Industry

平成25年度 スローガン

## 商工会は行きます 聞きます 提案します



GOOD DESIGN  
AWARD 2013



▲グッドデザイン・ものづくりデザイン賞受賞式にて審査委員長と

## Contents

### ■県連会Letter 2~3頁

- ・労働環境対策事業専門家報告会
- ・ガッチャリつかむ販路開拓商談会
- ・県青連経営革新研修会
- ・県女性連第3回幹部講習会
- ・同友会35周年記念事業・研修会

### ■あなたのまちの元気な企業(多可町) 4頁

### ■商工会Letter 5~6頁

- ・産学連携フィールドスタディ報告会 ..... (三田市・五色町)
- ・信頼される100年企業塾終了式 ..... (淡路市)
- ・「モロヘイヤふりかけ」が人気 ..... (上郡町)
- ・太子町マーケット ..... (太子町)
- ・コラム「ひょうご支援の扉」

平成23年には真空パッキング技術の特許を取得。贈答品用のタオルをコンパクトに包装した商品を揃え、梱包用のギフトボックスを最小限に抑え、エコの観点にも特化している。また、非常用圧縮毛布【EB-201】の開発により、平成25年3月経営支援計画の承認、さらに同年11月に「グッドデザイン・ものづくりデザイン賞」を受賞した(商工連会報2013・12月号掲載)。

(詳細は4頁)

足立織物株  
(多可町)

播州織の産地で歴史を育んで



▲熱心な参加者たち

県連合会は、1月15日、「ガッチャリつかむ販路開拓商談会」を開催した。チリつかむ販路開拓商談会を事業者に迎え、事業報告と「商工会地域の労働問題について」と

## ガッチャリつかむ販路開拓商談会

商談会には食に関する事業者に限定して、兵庫県下の商工会地域から出展事業者36社、全国内の百貨店、高級スーパーや卸業者ら35社のバイヤーが参加した。アポイント型個別商談会方式により、事前にマッチングをしたプログラムに沿って、1事業者あたり最多12コマの商談を行い、待ち時間なくスムーズに実施した。

この商談会は、既存商品のブランドアップ、販促企画など意見交換が出来る場を増やしてほしいとの意見も出され、今後検討していく予定。

県連合会は、1月14日、労働環境チェック事業の派遣専門家報告会・意見交換会を実施した。これは、県連合会が平成25年度に取り組んだ事業で、近年増加している労使トラブルの防止や解決のため、専門家の視点から事業所の就業環境の整備・改善等に関するアドバイスを行うもの。

当日は、本事業に携わった専門家を迎え、事業報告と「商工会地域の労働問題について」と

専門家たちからは、この様な意見交換が出来る場を増やしてほしいとの意見も出され、今後検討していく予定。

会と専門家の連携の4つのキーワードをもとに実施。なかでも、地域特有の労働問題等、専門家と商工会とが連携して解決していかねばならない課題が多く見受けられた。

題した意見交換会が行われた。意見交換会は①小規模事業者②地域性③女性の活用④商工

## 労働環境チェック事業意見交換会



▲活発な意見交換がなされた

### 3月のこよみ

- 3日(月) 人事管理委員会、職員協議会理事会
- 5日(水) 県女性連 正副会長・常任理事会
- 10日(月) 労働環境対策事業採択審査会
- 14日(金) 県青連 正副会長・常任理事会、理事会
- 17日(月) 正副会長・常任理事会
- 18日(火) 地域活力増進事業等採択審査会

### 4月のこよみ

- 8日(火) 県女性連 正副会長・常任理事会、監事会、理事会
- 22日(火) 県女性連 通常総会、第1回幹部講習会
- 25日(金) 県青連 通常総会、第1回幹部講習会

## 短 信

- 1月21日(火) 人事管理委員会
- 2月3日(月) 共済事業委員会



始めませんか～新しい環境貢献～

### ひょうご「企業の森づくり」

環境への貢献のため、森林整備をお考えの企業や団体等の皆様のお手伝いをします。

- 活動フィールドの斡旋
- 森林整備についての助言・提案・技術指導
- 施設委託先の紹介

◆お問い合わせは◆

公益社団法人 兵庫県綠化推進協会

〒650-0012

神戸市中央区北長狭通5-5-18 槟林美会館内

TEL 078-341-4070 / FAX 078-341-4074

URL:<http://www.hyogo-green.net/>



最高の信頼を  
めざして。

三井住友銀行

県青連

## 『アイデアを形に!』

### 経営革新研修会を開催

## 女性として商いの道での生き方

### 第3回幹部講習会を開催

県商工会青年部連合会(和島  
将志会長)は、1月23日、姫路  
市・ホテルサンシャイン青山に  
おいて経営革新研修会を開催。

県下各地域の青年部幹部91人が  
参加した。

今年度は西播磨地区商工会青  
年部連絡協議会が主管。当日は、  
(株)そだてる代表取締役小畠秀之  
氏をはじめ、(社)中小企業診断士  
協会兵庫支部青年部会から4名  
の講師を招き研修を行った。

当日は、「経営革新の取組み方」  
を学んだのち、5~6人のグループ  
に分かれワークショップを実  
施。ブレーンストーミング(新  
たなアイデアを生み出すための  
方法の一つ)と、KJ法(ブレー  
ンストーミングなどによって得  
られた発想を整序し、問題解決  
に結びつけていくための方法)。  
を使って「間伐材、雑草、鹿肉、  
石ころ、空気」をテーマに新商  
品づくりについて話し合った。

最後に行われた各グループか  
らの発表の中には、現実に商品  
が出来そうなおもしろいもの  
もあった。



▲各グループからの発表を聞き入る参加者たち

たものに関連付けを行い、形に  
する。それを発表することで、  
会場全体が一体となることがで  
きた。

参加者からは「想像力に刺激  
をあたえられた」「分かりやすく  
共感を持つて」「話に引き込まれ  
た」などの感想が多く出され、  
大変好評であった。

県女性連



▲自身の商いに対する想いを語る平川氏

研修では、「待つ商いから出か  
ける商いへ:変化の時代」と題  
し、正弁丹吾グループ代表の平  
川好子氏に講演をいただいた。  
平川氏から語られた、自身の  
商いに携わるようになったきっかけ  
や従業員の教育、結婚・子

しみを一同に体験することので  
きる「博多の食と文化の博物館」  
ハクハクの施設を見学。

明太子に関する基礎知識や、  
実際の製造工程作業、「ふくや」  
の記念品と  
して作成し  
た同友会オ  
リジナル扇  
子の発表も  
その場で行  
われた。

多祇園山笠、筥崎宮放生会、博  
多祇園山笠、筥崎宮放生会、博  
多の四季の祭りとそ  
される博多の四季の祭りとそ  
れを見学するなど、大変有意  
義な研修会となつた。

県商工青年同友会は、  
1月18日~19日、同友  
会創立35周年記念事業  
として研修会・交流会  
を開催。20人の会員が参加した。

当日は全国同友会連  
合会・植村政人会長を  
講師に招き「全国商工  
同友会連合会事業等に  
ついて」と題した講演  
と意見交換が行われた。



▲「ふくや」を見学した参加者たち

また、周  
年記念事業  
の記念品と  
して作成し  
た同友会オ  
リジナル扇  
子の発表も  
その場で行  
われた。

2日目は  
博多・福岡  
の観光の樂

育て・介護等、女性ならではの  
商いの道での生き方に、参加者  
は自身の経験に重なる部分もあ  
り、熱心に聞き入っていた。

平川氏は最後に「時代の変化  
に合わせ、今自分自身がやつて  
いることに何か色を加え、とに  
かく変化することが必要だ」と  
熱く語られた。

続いて行われた座談会では、  
正弁丹吾グループの中の一つ「ベ  
ストサレブ」からケータリング  
サービスを受け、平川氏を交え  
て活発な交流ができた。

今後の女性の活躍が楽しみだ。

多可町の老舗企業として約60年、堅実に歩んでいた同社に新しい転機が訪れたのは、平成23年に起きた東日本大震災。

足立社長は震災当時、多くの帰宅困難者を目の当たりにした東京の問屋から「災害時に暖ができるような毛布を開発してはどうか」とアドバイスを受けた。同社が持つ真空パッキング技術と、災害時用の毛布の開発：新たな事業の展望を予感した瞬間であった。

## 新たな世代の夢を実現化

商品を開発するにあたって、足立社長は娘の有希さん(長女)・美由希さん(三女)に商品のアイデアから販売方法までを委ねてみることにした。ゼロからの商品開発は、姉妹にとって何もかもが初めてのことでの、足立社長自身も不安はあったが、若い人の“夢”を形にすることへの

きっかけが必要だと、多可町商工会が主催するセミナーに参加した。そこから同商工会サポートのもと、専門家との連携もあり、足立社長・姉妹の思いを形にしていくことになる。



▲毛布(中央)1枚がこのパッケージサイズに!

兵庫県は平成7年、阪神淡路大震災により甚大な被害に見舞われた。19年を経て、人々の記憶が少しずつ薄れゆくなが、発生した東日本大震災。改めて防災意識が高まり、多くの帰宅困難者を生んだことをきっかけに、積極的に防災、減災に取り組む企業も増えてきたが、企業において非常用品を備蓄するには限界があり、どの程度までコンパクトにするかが重要な要素となつた。

そこで、姉妹は「会社で各自が保管できる毛布」「各自保管できる場所は机の引出しや書

棚」であることに着目し、「省スペースで本棚や机の引出しに収納可能なA4サイズの毛布」をコンセプトに開発を進める。

同社の真空パッキング技術を駆使し商品化を進めたものの、均等に厚みを揃えることの難しさや、毛布の素材・パッキングのフィルムの素材選び等納得できるまでに様々な苦労があつた。

完成した非常用圧縮毛布「エマージェンシーブランケット【EB-201】」は、コンセプトどおり机の引出しや書棚に収納可能。非常時にはさみがなくても開封可能で、シングルサイズ。何より素材がやわらかく肌触りがとても良い。災害時の不安な心を包込み、落ち着かせてくれるだろう。

企業への売り込み、プレゼンも姉妹で行った。書店で取り扱われるようになつたきっかけ。自ら大手書店社長のセミナーに出向き、商談したのがきっかけ。今では複数の書店の店頭に並び、メディアでも多数取りあげられるまでになつた。

## これから夢” “展望”

世に知られるようになつた商品だが、当初の“夢”である「企

【企業概要】	
企業名	/足立織物 株式会社
代表者	/代表取締役 足立 利信
所在地	/[本社] 〒679-1102 多可郡多可町中区安楽田511 ☎0795-32-0437 〔商品事業部〕 〒677-0014 西脇市郷瀬町273 ☎0795-25-0080
HP	http://www.atec1945.co.jp/

“夢”は広がっていく。  
日本の発信も期待でき、まだまだ拓けになりたい、とのこと。

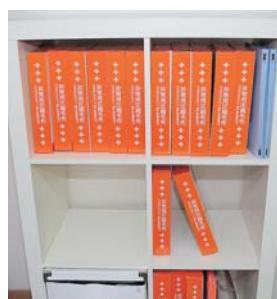
業に備蓄してもらえる」ようになるには、まだ販路開拓が必要だと、社長は話す。毛布だけでなく、軍手・マスク・タオルがセットになった商品の開発もしており、今後も真空パッキング技術を使って省スペースで備蓄が可能な商品開発、販路開拓に取り組んでいく。

さらには、地元で綿花を育て、地場産業の播州織を再認知されようになりたい、とのこと。日本だけでなく、世界に向けての発信も期待でき、まだまだ拓けない商品も開発中!

## 新たな展望の訪れ

希望は大きかつた。

姉妹はとにかく一步踏み出す



▲書棚に並べるとこんな感じに…



▲毛布10枚でもダンボール1つに



五色町  
商工会

## ～産学連携フィールドスタディ報告会～

三田市  
商工会

三田市商工会（松原正武会長）は、平成25年度産学連携事業として、兵庫県立大学大学院経営研究科のフィールドスタディ受入れを実施した。

これは、社会人学生と教授陣が会員事業所2社に2回に渡って訪問し、事業主や従業員から聞き出した課題や将来構想をもとに分析を行い、提案書にまとめるもの。

ヒアリングや報告会には商工会職員も同席し、学生が経営学の手法を駆使して

五色町商工会（砂尾治会長）は、平成25年度「産学連携事業」に取り組み、兵庫県立大学経営専門職大学院で学ぶ5名の学生から地域産業の再復興・活性化のためのまちづくり構想の提言・提案をいたぐることとした。これは、地域のしがらみ等にとらわれない新鮮で多角的な視点から「まちづくり・ひとづくりの構想」の提案を得ることで、五色町の魅力再発見を目指すもの。

五色町商工会（砂尾治会長）は、平成25年度「産学連携事業」に取り組み、兵庫県立大学経営専門職大学院で学ぶ5名の学生から地域産業の再復興・活性化のためのまちづくり構想の提言・提案をいたぐることとした。これは、地域のしがらみ等にとらわれない新鮮で多角的な視点から「まちづくり・ひとづくりの構想」の提案を得ることで、五色町の魅力再発見を目指すもの。

五色町商工会（砂尾治会長）は、平成25年度「産学連携事業」に取り組み、兵庫県立大学経営専門職大学院で学ぶ5名の学生から地域産業の再復興・活性化のためのまちづくり構想の提言・提案をいたぐることとした。これは、地域のしがらみ等にとらわれない新鮮で多角的な視点から「まちづくり・ひとづくりの構想」の提案を得ることで、五色町の魅力再発見を目指すもの。

五色町商工会（砂尾治会長）は、平成25年度「産学連携事業」に取り組み、兵庫県立大学経営専門職大学院で学ぶ5名の学生から地域産業の再復興・活性化のためのまちづくり構想の提言・提案をいたぐることとした。これは、地域のしがらみ等にとらわれない新鮮で多角的な視点から「まちづくり・ひとづくりの構想」の提案を得ることで、五色町の魅力再発見を目指すもの。

行う調査分析を見学した。学生はMBAの学位取得を目指す現役社会人で、フィールドスタディに対する意気込みも高く、マクロ・ミクロによる環境分析など、自身ではなかなか出来ない分析結果データを盛り込んだ実現可能性の高い提案を受けることができ、受入れ事業所からは「今後の事業に活かしていきたい」と大変好評だった。

また、事業所調査から浮かび上がった三田市の課題

や商工会に期待される役割についての提案もあり、商工会としても今後の事業に活かしていく予定。



▲現地報告会を終えて



▲積極的な意見が飛び交う報告会

『信頼される100年企業塾』  
終了式

一 淡路市商工会・五色町商工会・南あわじ市商工会・洲本商工会議所一



▲淡路県民局県民生活室 西川室長より激励文を受け取る受講者

表には、これまで参加者が学んだ理論や手法が様々な形で取り入れられており、本講座が

この事業では、『顧客価値創造』と『人材育成』をテーマに全8回の講座が実施され、最終回となつたこの日には、参加企業の中期経営計画が発表された。

この事業では、『顧客価値創造』と『人材育成』をテーマに全8回の講座が実施され、最終回となつたこの日には、参加企業の中期経営計画が発表された。発

表には、これまで参加者が学んだ理論や手法が様々な形で取り入れられており、本講座が

この事業では、『顧客価値創造』と『人材育成』をテーマに全8回の講座が実施され、最終回となつたこの日には、参加企業の中期経営計画が発表された。発

表には、これまで参加者が学んだ理論や手法が様々な形で取り入れられており、本講座が

## 一中小企業と共に50年一

商工会の共済事業として会員の福利厚生をお手伝いする

県 共 済

兵庫県火災共済協同組合  
兵庫県共済協同組合

〒650-0011 神戸市中央区下山手通6丁目3-28 兵庫県中央労働センター 4階

☎ 078-361-8083 Fax 078-371-6757

ホームページ [www.Ken-Kyosai.or.jp](http://www.Ken-Kyosai.or.jp)



▲会場内は大盛り上がり

その中心となる同商工会（小河清之会長）では、新たに「モロヘイヤふりかけ」を開発。会員事業所の協力を得て、初摘み若葉のみを使用したふりかけを昨年8月、2千袋限定生産した

上郡町では、町内産モロヘイヤのブランド化に向けた取り組みが現在、役場、JA、生産者、上郡高校、いずみ会などを巻き込み、町ぐるみで進められている。

（1袋30グラム）。ところが3か月で完売してしまい、残った乾燥若葉を使用して千袋弱を追加生産。これも残りわずかという。さらに、地産地消の健康食品と相生市の学校給食にも採用された。現在、JR上郡駅前の観光案内所はじめ、JAの販売施設「旬彩蔵」上郡、山崎、福崎、書写的各店舗などでも取り扱っている。

## 「モロヘイヤふりかけ」が人気

### —上郡町商工会—

## 第4回太子町マーケット

### —太子町商工会—

太子町商工会（高井國昭会長）は、1月11日㈯、太子町立文化会館「あすかホール」において「第4回太子町マーケット」を開催した。

今年で4回目となる本事業は、多種多様な業種の会員事業所を集め、町内外の消費者への認知度アップを図るとともに、事業主のやる気向上させることを目的としており、兵庫県立大学との产学連携事業として企画さ

れた。

今回は26店舗が参加し、各店舗が自慢の商品やサービスを積極的にPRした。中には前回の3倍を売り上げた事業所もあり大いに盛り上がった。

また、スタンプラリーや子供を対象とした縁日も併せて開催し、集客アップを図った。

県立大学の学生は参加事業所

## コラム

## ひょうご支援の扉

今我々が求められている  
さあ商工会の腕の見せどころ



丹波市商工会 足立 嘉正

支援する新ものづくり補助金(1400億円)が補正予算で対応すべく、予算化されています。

昨年度も中小企業者向けの予算措置はなされましたが、

小規模事業者向けの特別枠をもうけるなど、小規模事業者に特化した予算措置は、今までなかつたのではないかと思うが、

また、今まで商工会も認定支援機関の一員として、会員企業を支援してきましたが、今回の

小規模事業者支援パッケージ事業の創設は、全国にネットワークを持ち地域に密着している商

業会にその小規模事業者と一体となつた段階的発展に向けた支援と地域経済の活性化を強く求められているのだと思います。

もう支援機関として商工会のあり方を問われている段階は、終わりました。商工会がそれぞれの地域で会員企業の活力を引き出し、地域経済の再生を確実に図ることが強く求められるのではないかでしょうか。

さあ、ハイは、描いました。商工会が得意とする小規模事業者の経営支援を重ね、繁栄する企業づくりをとおし、地域活力が創造できますよう今が皆さんの腕の見せどころです。一丸となつて我々の実力を發揮しましょう。

のPRチラシ作成や当日の子供向けイベントの企画、運営、また来場者へ聞き取り方式でのアンケート調査を行う等、多岐にわたり貢献した。



▲青々と育ったモロヘイヤ。その葉を塩麹で手もみし、3日間寝かせた後に乾燥させる